

随筆文 総合・定期テスト対策

問題 P04

本文

【本文】毎朝、私は駅まで同じ道を歩く。角のパン屋、細い路地、信号の順番まで見慣れていて、考えごとをしながらでも着ける道だ。ある朝、工事でいつもの道が通れず、一本となりの道へ回った。私は少し面倒に思い、足早に歩いた。ところが、古い家の塀のすき間から、朝日を受けた小さな青い花が見えた。立ち止まるほどではないと思ったのに、数歩進んでからなぜか戻ってしまった。花は風に揺れ、塀の影の中で小さな灯りのように見えた。その日から私は、ときどき一本となりの道を通るようになった。すると、木の実を並べる子どもや、毎朝植木鉢に水をやる人にも気づいた。近道だと思っていたいつもの道は、目的地へ早く着くためだけの線になっていたのかもしれない。少し遠回りをしたことで、私は道の途中にも立ち止まる理由があると知った。遠回りは時間の損だと決めつけていたが、急がないときにしか見えないものもある。

①語句・内容確認

問1 本文を読んで答えなさい。

「遠回りは時間の損だと決めつけていた」「決めつけていた」に最も近い意味はどれですか。

ア よく確かめたうえで正しいと判断していた

ウ 周囲の人から教えてもらっていた

答え _____

イ 他の可能性を考えずにそうだと思い込んでいた

エ 一度考えたことをすぐに忘れていた

②体験の把握

問2 本文に即して答えなさい。

筆者がいつもと違う道を通ることになったのはなぜですか。

③心情

問3 最も適切なものを選びなさい。

一本となりの道を歩き始めたときの筆者の気持ちとして最も適切なものはどれですか。

ア 新しい道を歩けることが楽しかった

ウ 道に迷うことを強く心配していた

答え _____

イ 遠回りになることを少し面倒に感じていた

エ 青い花を探すことに夢中だった

問4 最も適切なものを選びなさい。

筆者が青い花の前を通り過ぎたあと、数歩戻ったことから分かる気持ちとして最も適切なものはどれですか。

ア 青い花が気に入り、もう一度見たいと思った

ウ 花を持ち帰ろうと思った

答え _____

イ 道を間違えたことに気づいて慌てた

エ 工事の場所を確かめようと思った

④表現

問5 最も適切なものを選びなさい。

「花は風に揺れ、塀の影の中で小さな灯りのように見えた」という表現が表していることとして最も適切なものはどれですか。

ア 花が実際に光を出していた

ウ 塀のそばに電灯が置かれていた

答え _____

イ 暗めの場所にある青い花が明るく印象的に見えた

エ 花が風で消えそうになっていた

⑤気づき・理由

問6 30～40字程度で答えなさい。

筆者が、いつもの道を「目的地へ早く着くためだけの線」になっていたと考えたのはなぜですか。

⑥筆者の考え

問7 本文全体を踏まえて答えなさい。

筆者がこの体験を通して伝えたいこととして最も適切なものはどれですか。

ア 目的地には最も短い道で行くべきだ

ウ 少し急ぐのをやめることで、今まで見過ごしていたものに気づくことがある

答え _____

イ 毎日違う道を通れば必ず楽しいことが起こる

エ 工事中の道には近づかない方がよい

⑦総合記述

問8 40～60字程度で答えなさい。

筆者は遠回りをした体験を通して、どのようなことに気づきましたか。体験と気づきが分かるように答えなさい。